

初めての給食 おいしいね

食器に盛り付けをする給食当番たち



4月15日、市内の小学校で1年生の給食が始まりました。クラスのみならず準備をして、班になって一緒に初め



給食を口に運ぶ児童たち(さくら小学校)

ての給食を食べました。献立は、カレーライス、牛乳、コーンのサラダ、イチゴです。真っ白なエプロンを着た給食当番の子もたちが、給食室に食器や食器を取りに行き、教室に運んで給食の準備。食器にご飯やサラダをよそってお盆に載せ、運べない席を確認しながら、みんなに給食を届けました。給食の準備が整ったら、みんなの手を合わせて「いただきます」。好きなものも苦手なものも、みんなと一緒にくもく食べる子どもたち。食が終わると「給食おいしかった。おなかいっぱい」と初めての給食に大満足でした。

鮮やかツバキ堪能

4月3日(5日)の3日間、「第27回松花堂つばき展」が松花堂庭園で開催され、約1700人の来園者が庭園内に飾られたツバキを楽しみました。同展は、松花堂庭園・美術館などの主催で毎年開催されており、300種類以上のツバキを展示。庭園では、手まり状に組まれた竹の花器などにツバキが飾り付けられ、来園者は庭園を進む足を止めて、趣向を凝らした展示に見入っていました。

屋内の会場では、ツバキの一輪挿しや生け花、樹脂粘土で作られたツバキなどを展示。また、ツバキを模したお茶菓子と茶碗でお茶会も行われ、来園者はツバキ尽くしでの一服を楽しんでいました。大分県から夫婦で訪れた佐藤智幸さん(52)は「ツバキと雨上がりの竹やコケの緑とのコントラストが映えて、きれいでした。飾り方も工夫されていて、繊細な感じがして良かったです」と同展を堪能していました。



ツバキに見入る来園者たち

まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。



ミュージカルで熱演する団員たち

歌声に大きな拍手

4月19日、八幡市少年少女合唱団第36定期発表会が文化センター小ホールで行われ、小・中学生の団員19人が美しい歌声を披露しました。

同発表会は、団員たちの練習の成果を発表する場として毎年開催されています。また、今年度から制服がリニューアルされ、同発表会がお披露目の場となりました。

第一部は合唱のステージ。トップバッターの4年生以下の団員たちが「ピクニック」などをかわいらしく歌い上げると、5年生以

上の団員たちは合唱組曲「チコタン」を歌詞に合わせて喜怒哀楽の感情豊かに表現。また、全員での合唱では「勇気のうた」や「荒城の月」などを美しい歌声を重ね合わせながら披露し、観客からは大きな拍手が送られていました。

第二部では、動物たちが森の音楽長を目指して音楽会に出場する物語のミュージカル「森の音楽会」を上演。ウサギやサルに扮した団員たちのかわいらしい演技や歌声に、観客たちは笑顔を浮かべながら鑑賞していました。

7年ぶり2度目 全国制覇

京都八幡高校レスリング部



優勝旗とトロフィーとともにガッツポーズをする京都八幡高校レスリング部

3月27日~29日に新潟県で開催された全国高等学校選抜レスリング大会の学校対抗戦で、京都八幡高校が7年ぶり2度目の優勝を飾りました。

学校対抗戦は体重別の7階級で行われ、4勝したチームの勝利。「軽量級の層が厚いので、そこで先行して逃げ切るのが勝利の方程式」と浅井努監督。それに応え、軽量級の3選手が準決勝まで全

勝すると、重量級の選手もしっかりと勝ちを決めて決勝に進出しました。

決勝は昨年のインターハイ王者・花咲徳栄高校と対戦。「軽量級の3人が勝つのが形。残り4人で一つ取れば勝てる」と中林来樹主将。この試合でも軽量級の3選手が連勝して優勝に王手をかけると、84kg級の脇田俊之選手が粘りの戦いでポイントを重ねて勝利し、見事に優勝を決めました。

中林主将は「優勝を奪還できてうれしいです。夏は地元・京都でインターハイが開催されるので、春夏連覇を成し遂げられるように頑張ります」と視線はすでに高校二冠を見据えていました。